

2020年11月17日

ベトナム語の方言

ベトナムは54の民族からなる多民族国家です。各少数民族のコミュニティには独自の言語がありますが、ベトナム語はベトナムの総人口のおよそ87%を占めるキン族の母語で、ベトナムの公用語です。しかし、ベトナムは日本と同じように南北に長い国ですので、それぞれの地域には方言があります。

ベトナム語の方言は、北部方言、中部方言、南部方言の三つに大別され、それぞれハノイ、フエ、ホーチミン市（サイゴン）で使われる言葉を標準としています。このうち中部方言は他2地域と比べ音韻、語彙の両方で大きな差異があります。中部の人々はコミュニケーションを円滑にするために、中部の人同士では方言で話し、他地域の人とは標準語を使用することも多くあります。



ベトナムの3方言の地域

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

各方言は、発音や語彙などに大きな違いがあります。北部方言の特徴としては、特に子音をある程度強めに発音するためはっきりと聞こえ、日本人には分かりやすいと言えます。音節ごとに聞き分けるのが容易で、聞き取りやすいメリットがあります。北部方言である首都ハノイの言葉が標準語と言われており、全国に放送されるテレビ番組や新聞あるいは政府内で用いられる言葉は北部方言と定められています。ベトナム語の歌は基本的に北部方言で歌われるという習慣があります。これは、ベトナム南部に住んでいる人にもあてはまり、発音がクリアで分かりやすい北部方言で歌うのです。北部方言には以下の6種の声調があります。

図表 1:ベトナム標準語の6種の声調

番号	声調名	読み	記号
1	「Thanh ngang」平らな声調	タインガン	(なし)
2	「Thanh huyền」下がる声調	タインフイエン	˘ (グレイヴ)
3	「Thanh sắc」上がる声調	タインサツ(ク)	´ (アキュート)
4	「Thanh hỏi」問う声調	タインホイ	ˆ (フック)
5	「Thanh ngã」倒れる声調	タインガー	˜ (チルダ)
6	「Thanh nặng」重い声調	タインナン	˙ (ドット)

一方の南部方言は、発音が滑らかで流れるように話す傾向があります。基本的にベトナム語は6つの声調があるのですが、南部方言では問う声調(「タインホイ」)と倒れる声調(「タインガー」)が合わさり、5声調になっています。国としてはハノイ弁(北部方言)を一応は標準語としており

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

ますが、南の人民にそれを押し付けることはありません。国営放送 VTV ニュースの一部は、南部方言を使いハノイでアナウンスされています。

中部方言は非常になまりが強く、独特の発音を保持していると言われています。中部方言は、北部・南部方言と比べてより古い形を温存しています。中部方言の最大の特徴は声調が重く変化するという事です。中部方言では3つの声調が1つの声調に集約され、実質的に声調の数が減るため、声調による意味の判断が困難になります。中部の方言は南北の方言よりも難しく、話す人も少ないので、以下の例では北部方言と南部方言の違いをご紹介します。

頭子音の面では、「d-」、「gi-」、「r-」は北部弁ではすべて「ザ」行となり、発音の区別はありませんが、南部弁ではそれぞれ違う音です。「d-」は「ヤ」行、または「ジャ」行に近い「ヤ」行の音になります。「gi-」は「ヤ」行、または「d-」よりも「ジャ」行に近い「ヤ」行の音になります。「r-」は「ラ」行、または「ラ」行に濁点がついたような音になります。舌を反らせ、震わせて発音します。例えば、「何時？」とベトナム語で聞くときは、「May gio?」と表記します。発音はハノイでは「マイ ゴー」、ホーチミンでは「マイ ヨー」となります。違いは発音だけでなく、一般的な語彙にもあります。例えば、



北部では「マン」と呼ばれる

南部では「マン・バック」と呼ばれる



北部では「ロイ」と呼ばれる

南部では「マン」と呼ばれる

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

「Mận (マン)」は北部でも南部でも赤い果物ですが、ぜんぜん違う果物を指します。北部で「Mận」と言えば甘酸っぱいスモモ（前ページ画像左）のことですが、南部ではみずみずしいミズレンブ（前ページ画像右）のことです。

また、北部では「chén (チェン)」と言えば、お茶を飲む小さな湯飲みのことですが、南部ではご飯を食べるお茶碗のことを「chén」と言います。北部でお茶碗は「bát (バット)」です。



北部では「バット」と呼ばれる

南部では「チェン」と呼ばれる



北部では「チェン」と呼ばれる

南部では「リー」と呼ばれる

方言は各地域のアイデンティティを反映しています。方言を通して、話し手がどの地域の出身なのかを判別することができ、同郷の人々がお互いを認識することができます。ベトナム人は郷土の誇りとして地元の方言を話し大切にしているのです。

【写真提供：JVRC】 <http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。